

2018年(平成30年)3月期 第2四半期 決算説明資料



2017年 11月6日
株式会社 小森コーポレーション

決算概要 P/L

(単位:億円)

		2018/3 上期実績	2017/3 上期実績	差額	前年 同期比	2018/3 上期計画	差額	計画比
受注高		418	482	△65	87%	505	△87	83%
売上高		428	339	88	126%	435	△7	98%
営業利益		4	△21	25	-	2	2	218%
経常利益		13	△30	43	-	2	11	635%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		11	△36	47	-	1	10	1102%
平均レート(円)	US\$	111.42	106.71	/	/	105.00	/	/
	EUR	126.63	119.44			115.00		
期末レート(円)	US\$	112.73	101.12			105.00		
	EUR	132.85	113.36			115.00		

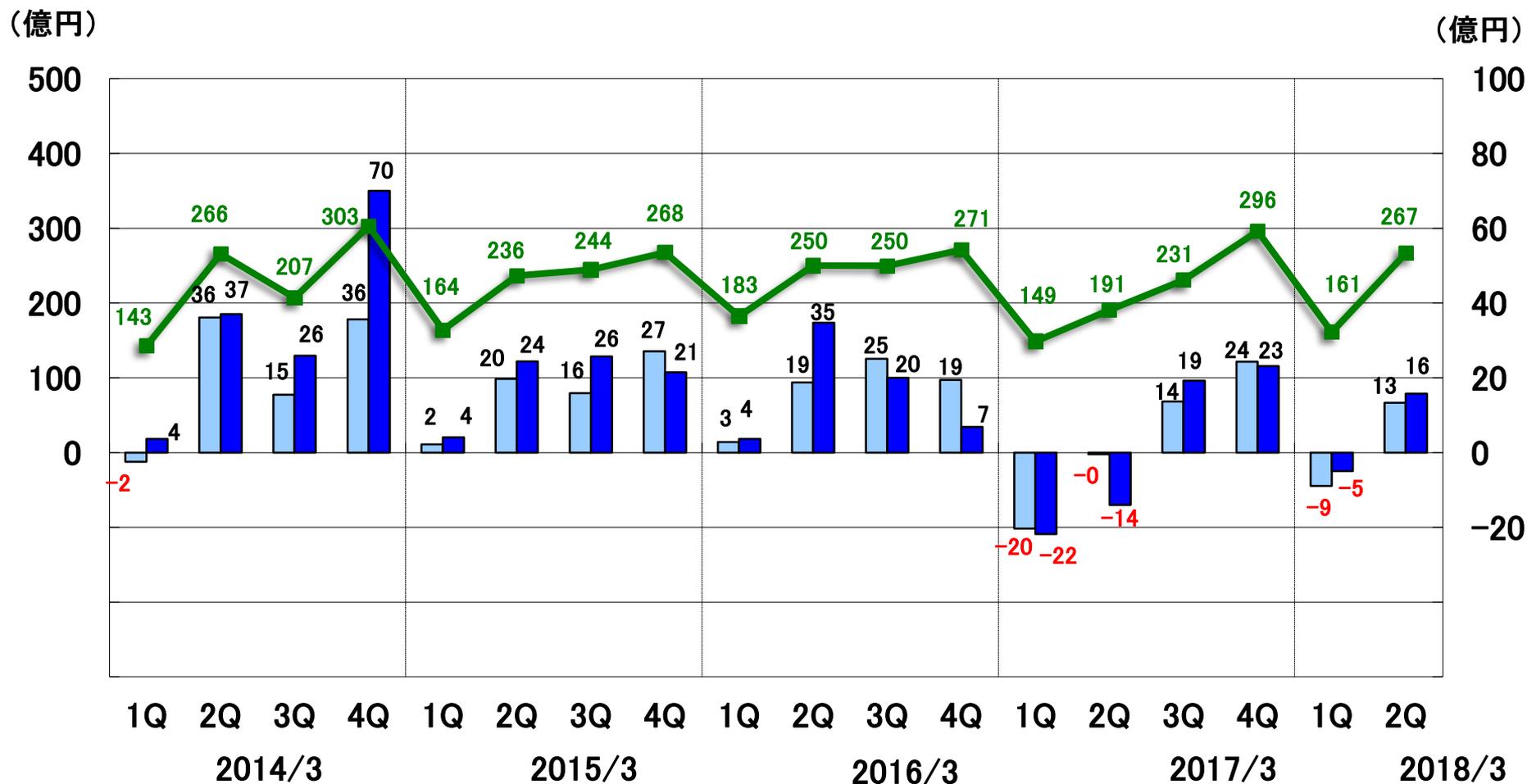
主な資産・負債

(単位:億円)

	当上期末 2017.9.30	前期末 2017.3.31	差額
現金・預金	372	407	△35
売上債権	239	221	18
有価証券	215	187	28
棚卸資産	323	316	7
うち製品	166	156	10
有形固定資産	335	338	△2
無形固定資産	23	25	△2
仕入債務	186	176	10
短期借入金	0	0	0
社債	100	100	0
長期借入金	0	0	0
株主資本	1,294	1,294	△1
総資産	1,828	1,801	27

売上高・損益の推移

■ 売上高(左目盛)
 ■ 営業利益(右目盛)
 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(右目盛)

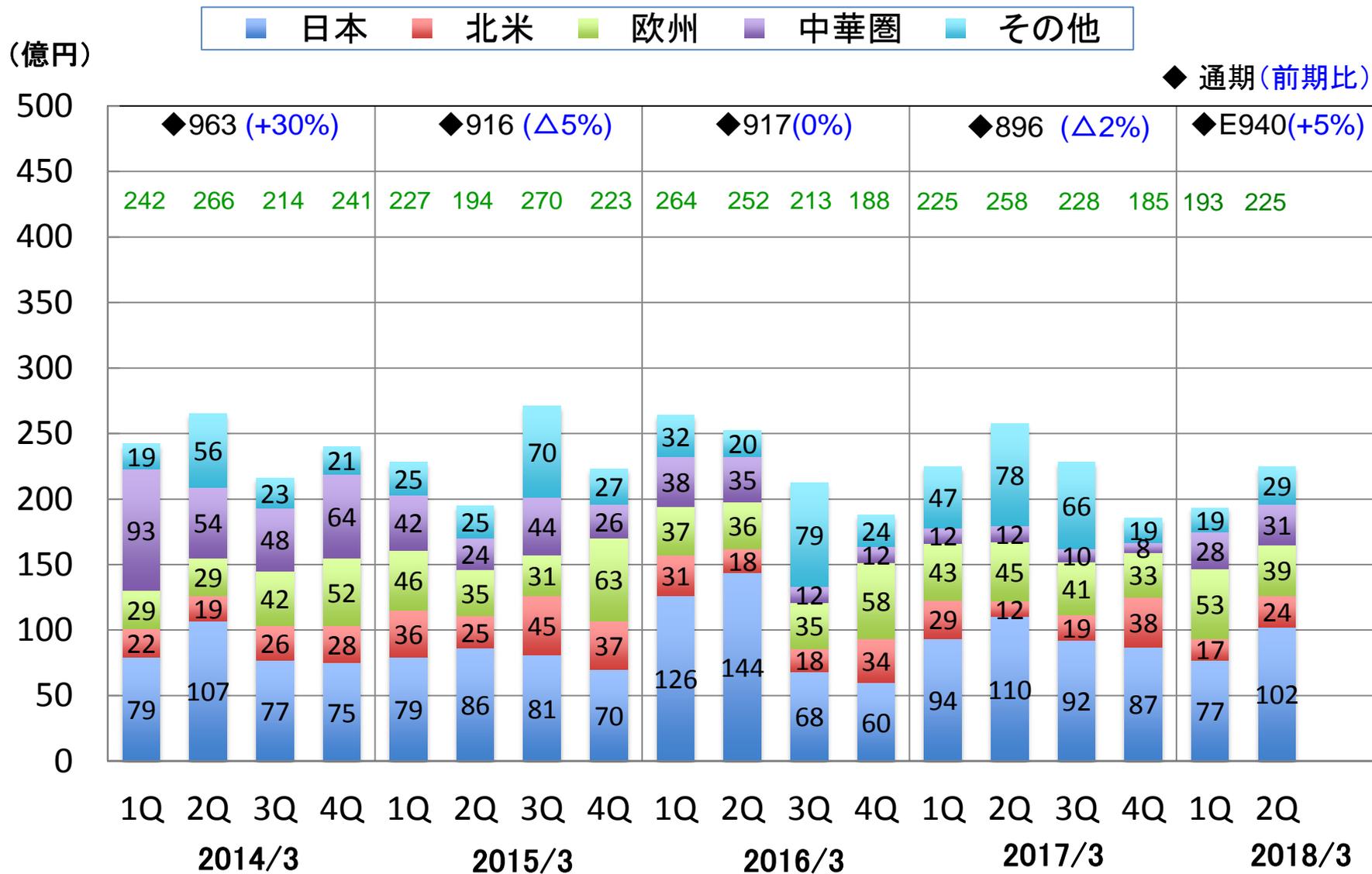


地域別受注高

(単位：億円)

	2018/3 上期実績	2017/3 上期実績	前年 同期比	2018/3 上期計画	計画比
日 本	179	204	88%	206	87%
北 米	40	41	98%	64	63%
(百万ドル)	(36)	(38)	(94%)	(61)	(59%)
欧 州	92	89	104%	85	109%
(百万ユーロ)	(73)	(74)	(98%)	(74)	(99%)
中 華 圏	59	24	247%	55	106%
そ の 他 地 域	47	125	38%	95	50%
合 計	418	482	87%	505	83%

地域別受注高



品目別受注高

(単位：億円)

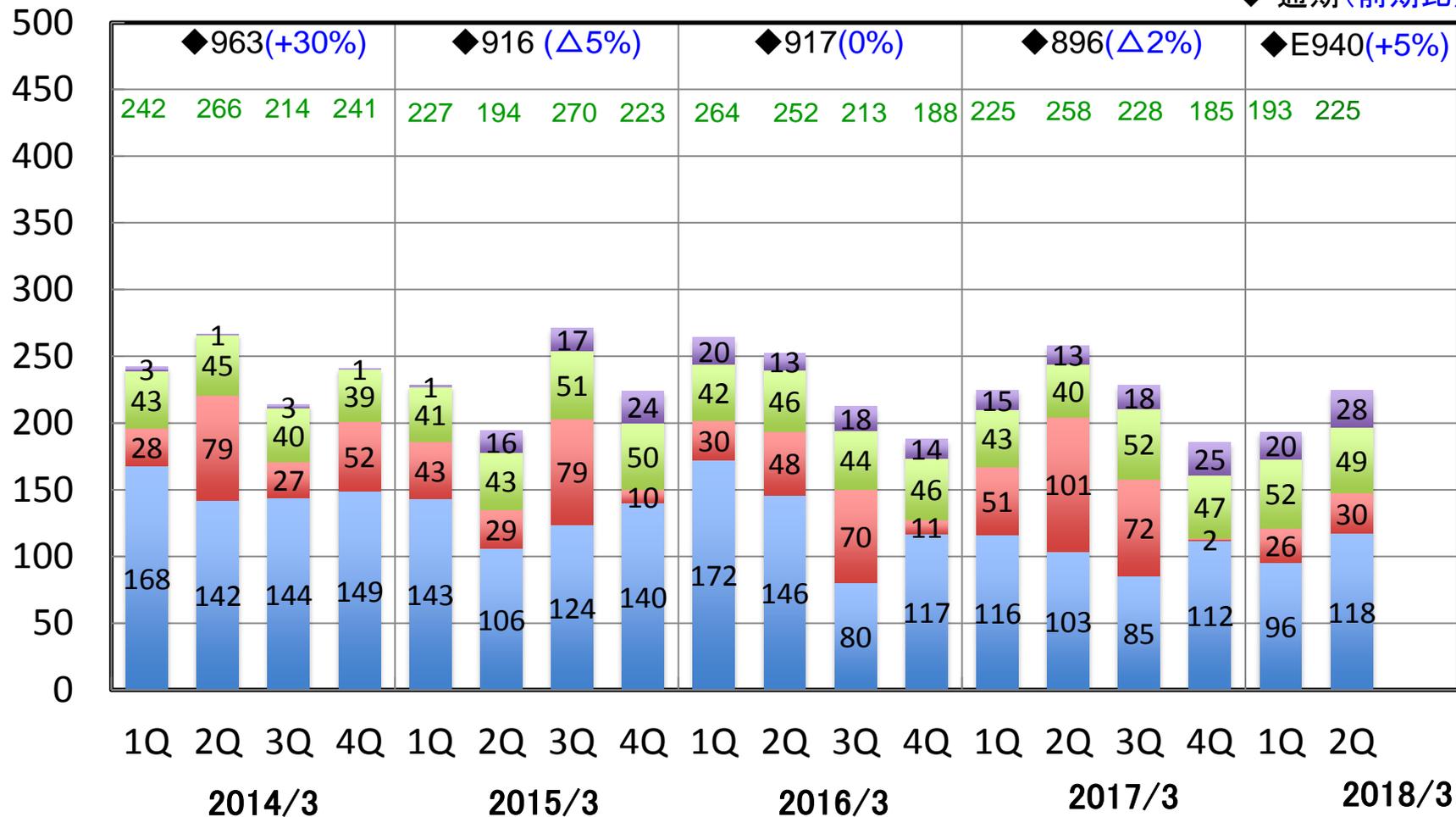
	2018/3 上期実績	2017/3 上期実績	前年 同期比	2018/3 上期計画	計画比
枚 葉 機	213	220	97%	266	80%
輪転機・証券印刷機	55	152	37%	75	74%
中古機・部品修理	101	83	122%	98	102%
そ の 他	48	28	172%	66	73%
合 計	418	482	87%	505	83%

品目別受注高

■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

(億円)

◆ 通期(前期比)

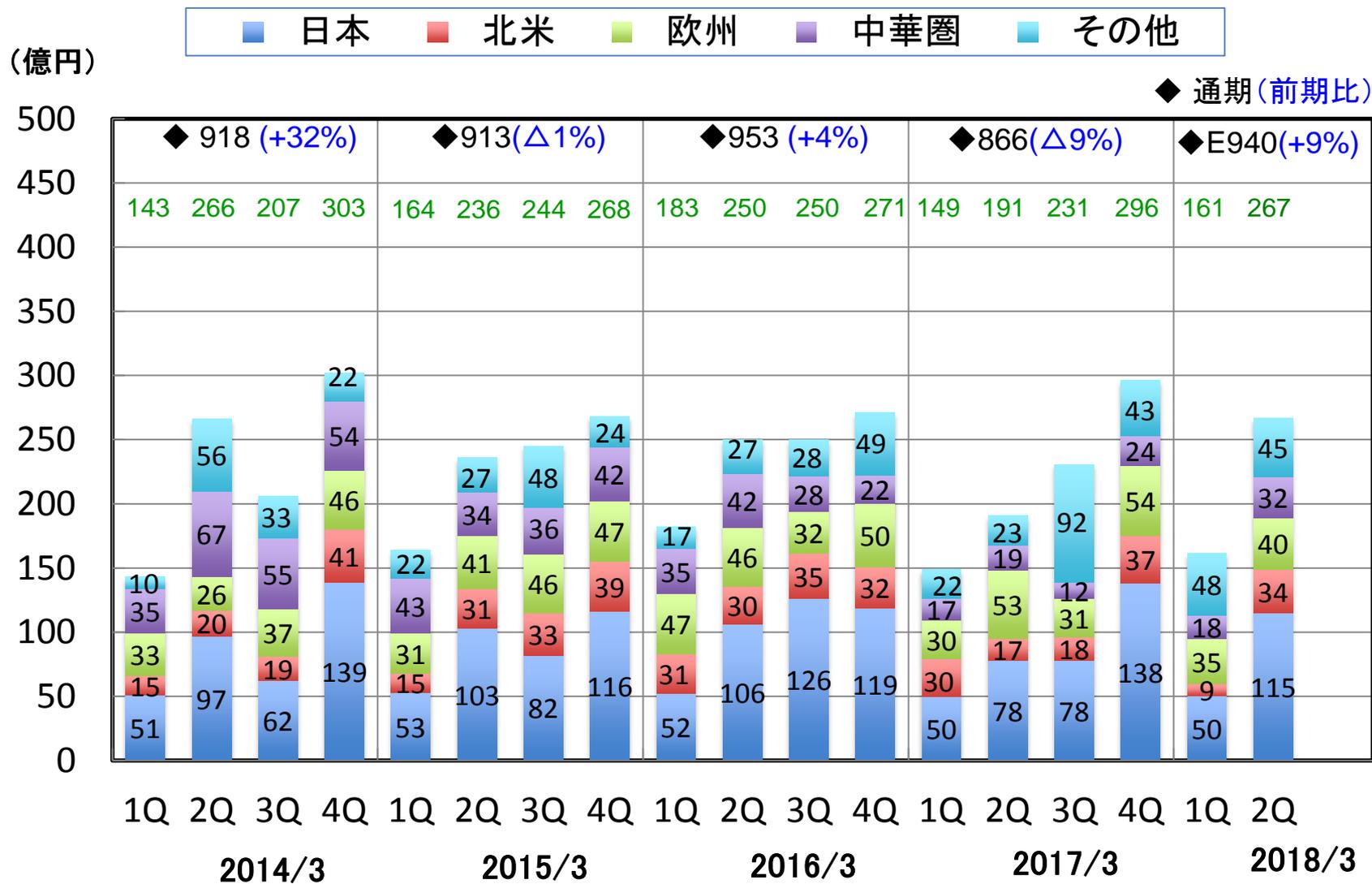


地域別売上高

(単位：億円)

	2018/3 上期実績	2017/3 上期実績	前年 同期比	2018/3 上期計画	計画比
日 本	165	127	130%	190	87%
北 米	43	47	93%	50	86%
(百万ドル)	(39)	(44)	(89%)	(48)	(81%)
欧 州	76	83	91%	71	106%
(百万ユーロ)	(60)	(70)	(86%)	(62)	(96%)
中 華 圏	50	37	138%	41	121%
そ の 他 地 域	93	45	205%	82	114%
合 計	428	339	126%	435	98%

地域別売上高



品目別売上高

(単位：億円)

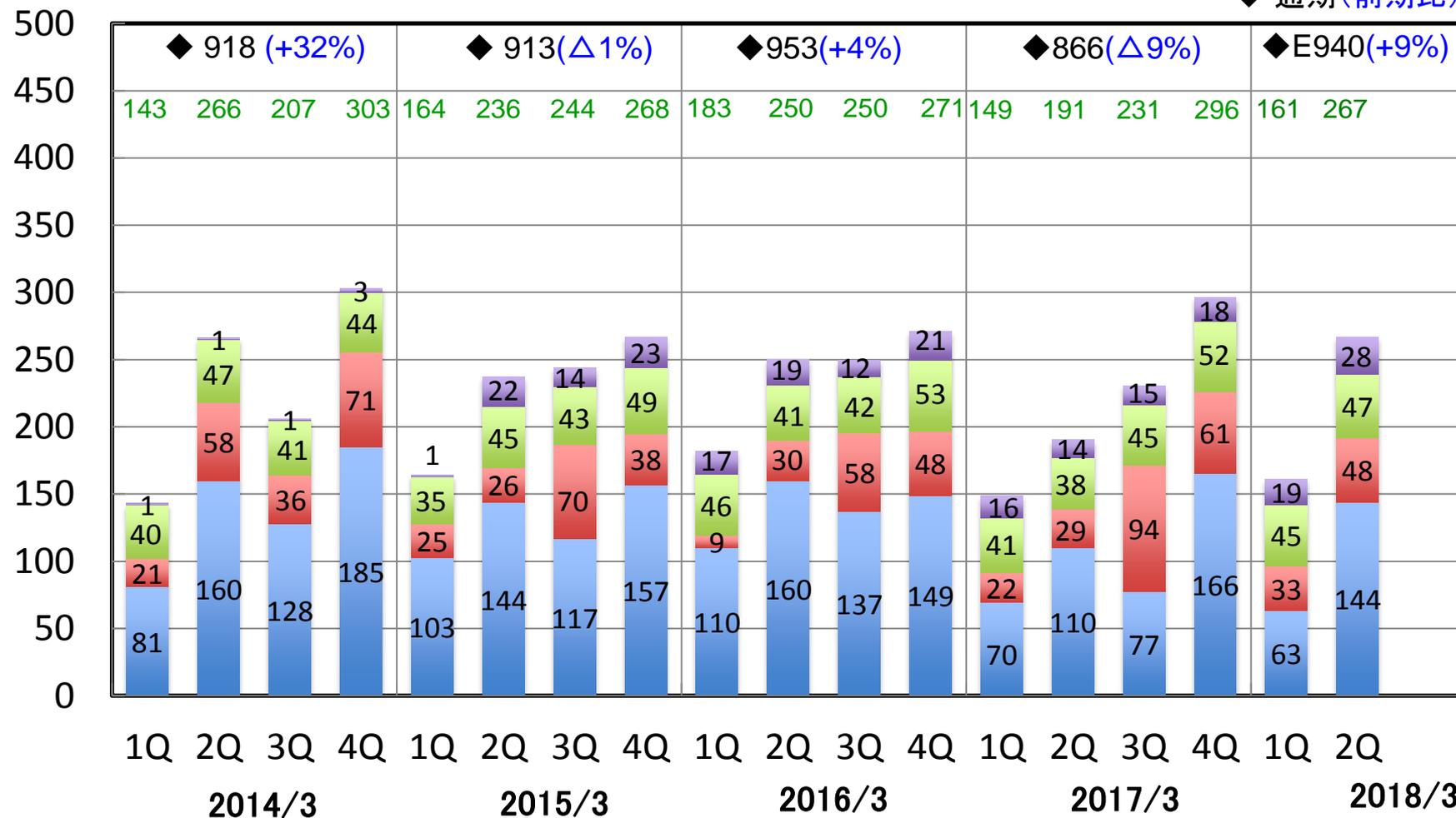
	2018/3 上期実績	2017/3 上期実績	前年 同期比	2018/3 上期計画	計画比
枚 葉 機	208	180	115%	210	99%
輪転機・証券印刷機	81	50	161%	68	119%
中古機・部品修理	93	79	117%	97	96%
そ の 他	47	30	156%	60	78%
合 計	428	339	126%	435	98%

品目別売上高

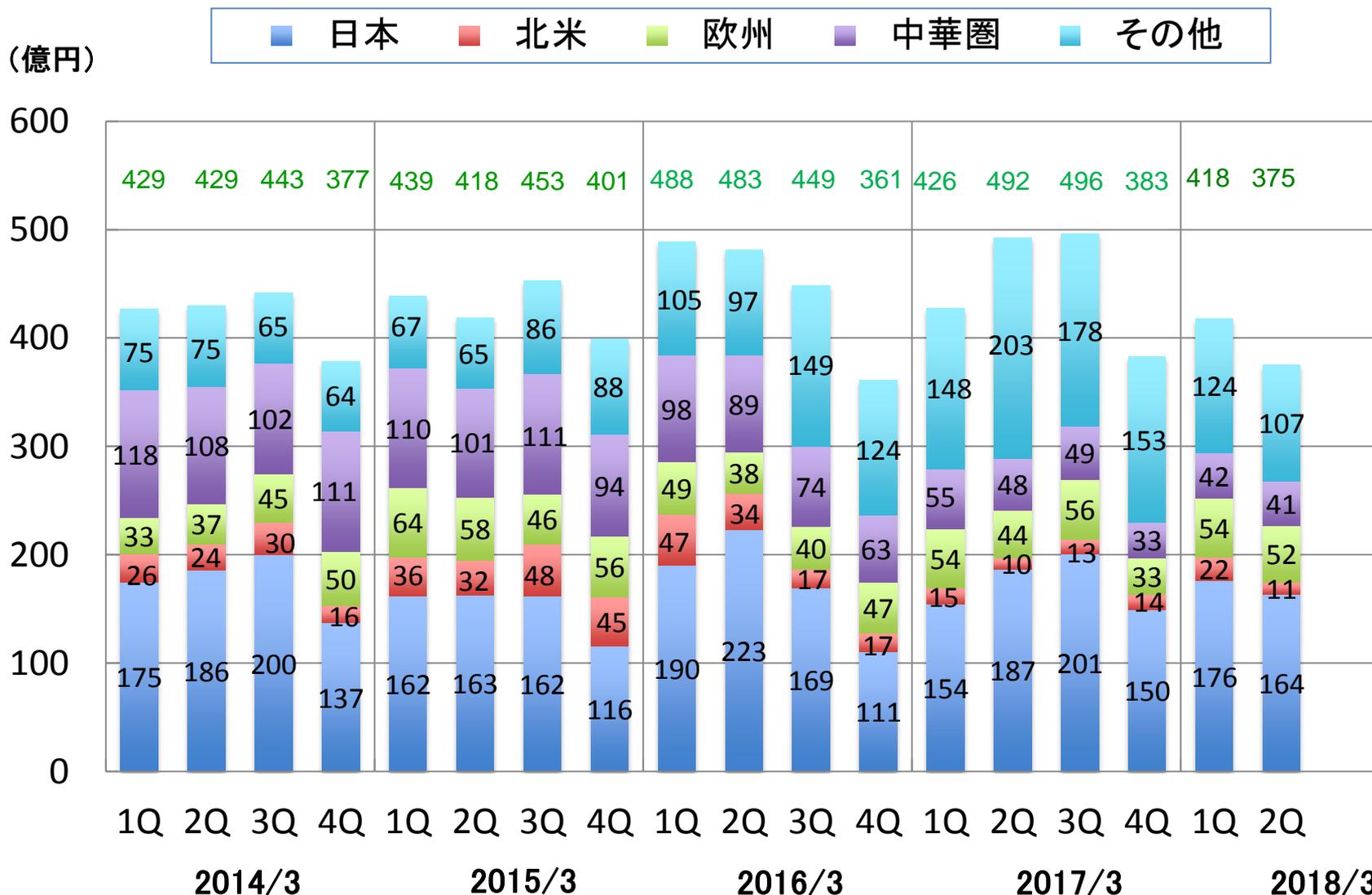
■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

◆ 通期(前期比)

(億円)

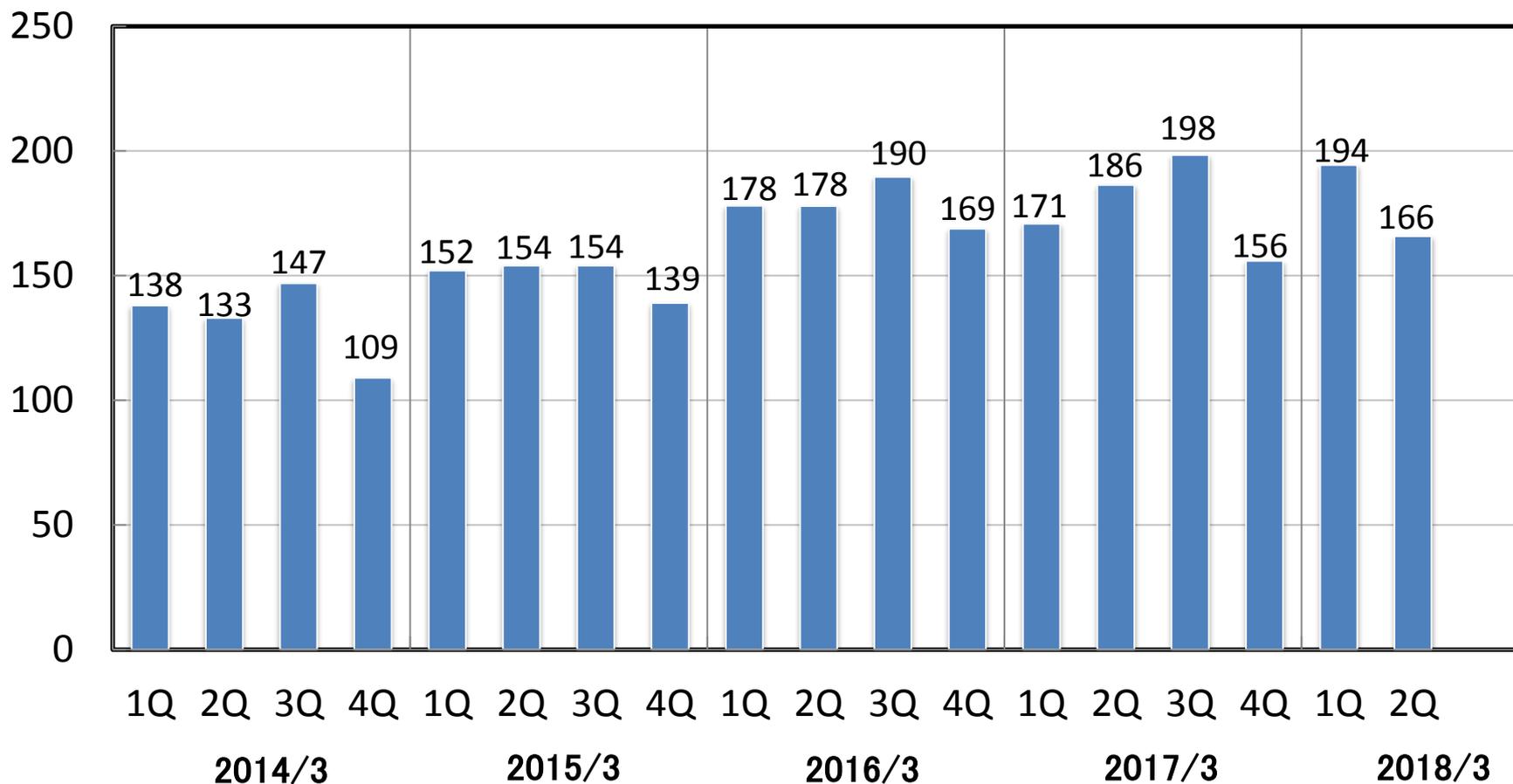


受注残高の推移



製品在庫の推移(原価ベース)

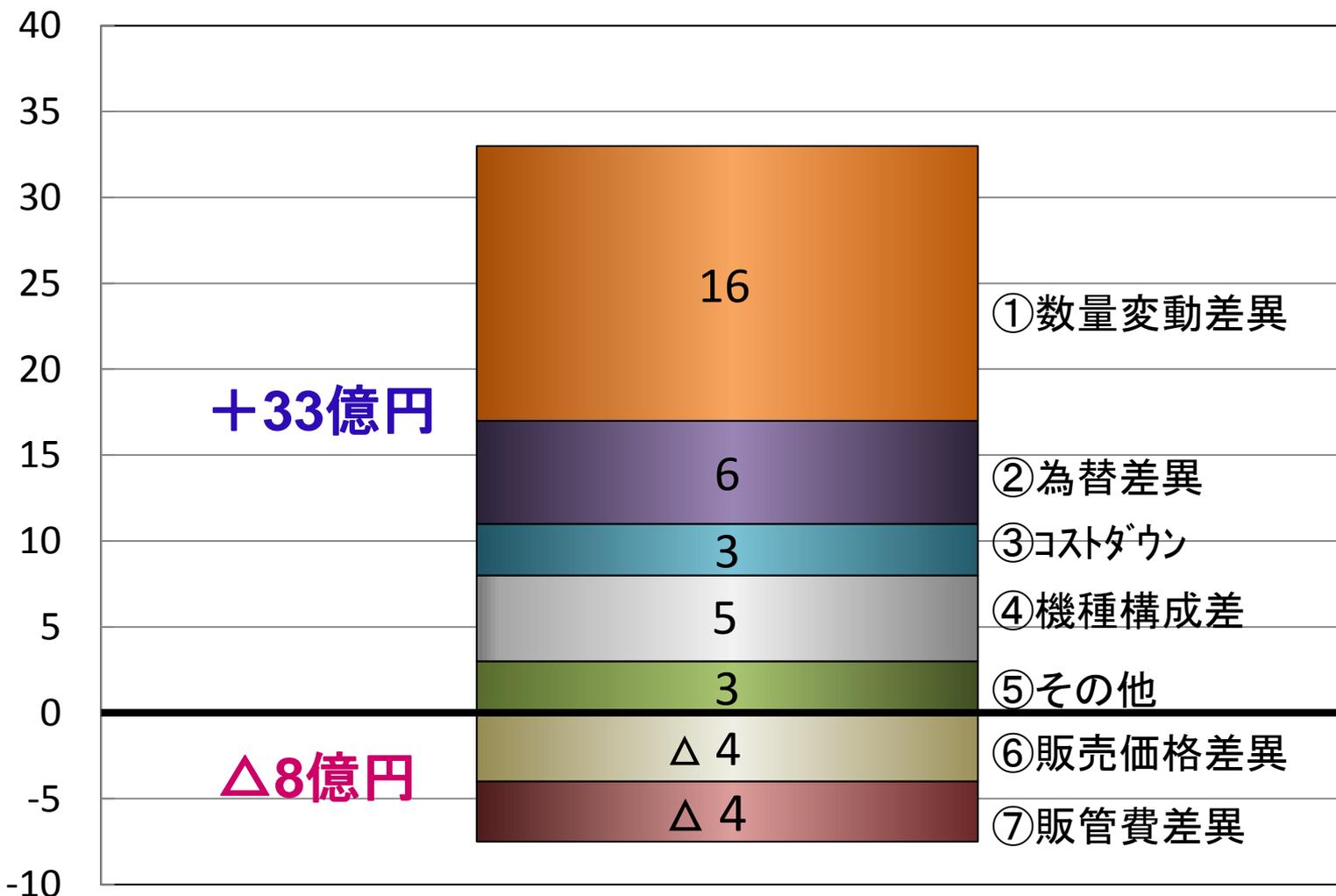
(億円)



上期営業損益の変動要因(対 前年同期比)

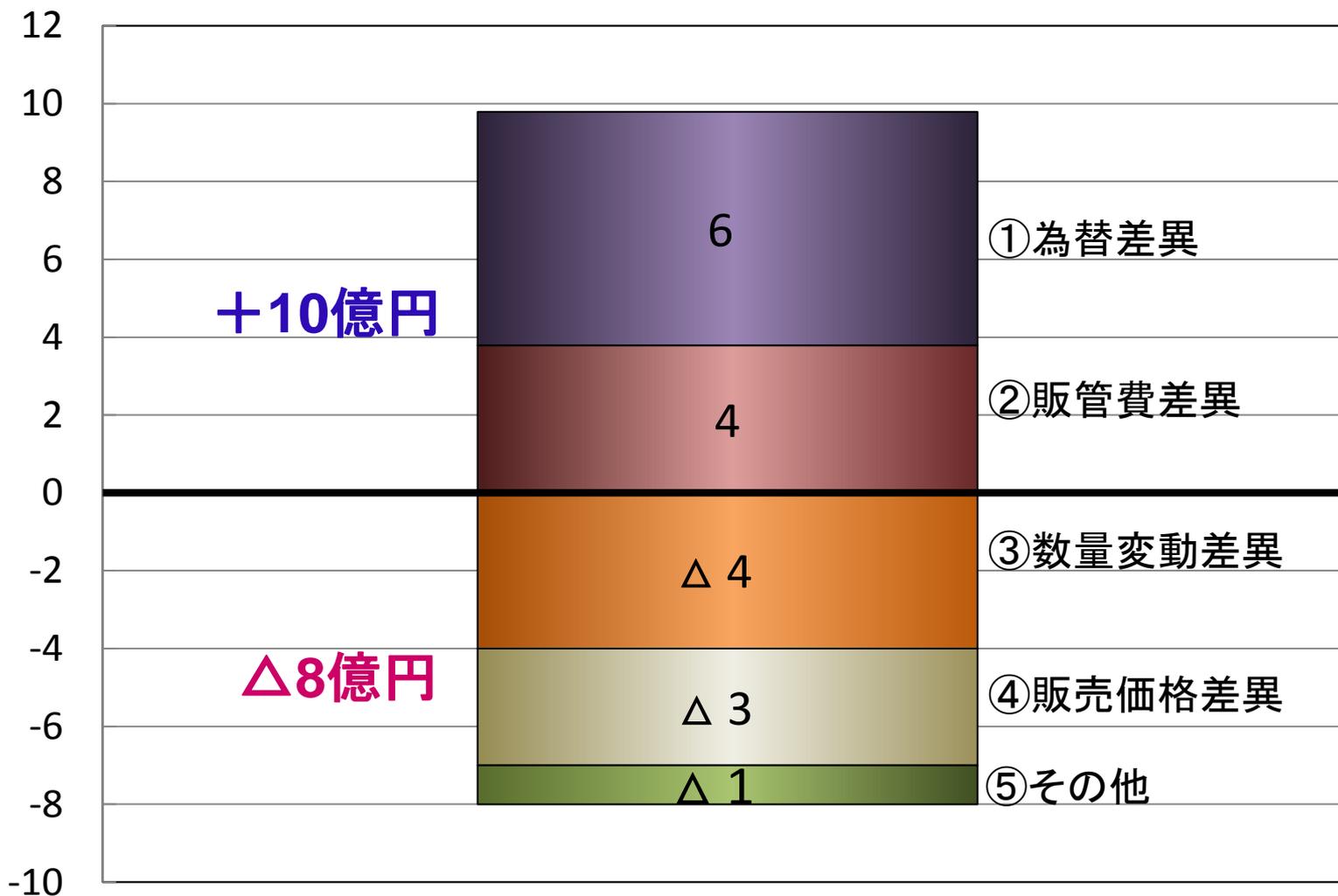
(億円)

合計 +25 億円



上期営業損益の変動要因(対 計画比)

(億円)

合計 +2 億円

通期業績見通し

業績見通し

(単位:億円)

		2018/3 上期実績	<2Q修正> 2018/3 下期計画	<2Q修正> 2018/3 通期計画	2017/3 前期実績	差額	前期比	<修正前> 2018/3 通期計画	差額
受注高		418	522	940	896	44	105%	980	△40
売上高		428	512	940	866	74	109%	970	△30
営業利益		4	15	19	17	2	111%	20	△1
経常利益		13	10	23	14	9	161%	21	2
親会社株主に帰属する 四半期純利益		11	8	19	7	12	289%	16	3
平均レート(円)	US\$	111.42	105.00	108.46	109.18	/	/	105.00	/
	EUR	126.63	125.00	125.88	119.54			115.00	
期末レート(円)	US\$	112.73	105.00	105.00	112.19			105.00	
	EUR	132.85	125.00	125.00	119.79			115.00	

地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2018/3 上期実績	<2Q修正> 2018/3 下期計画	<2Q修正> 2018/3 通期計画	2017/3 前期実績	差額	前期比
日 本	179	221	401	383	18	105%
北 米	40	69	109	99	11	111%
(百万ドル)	(36)	(65)	(101)	(90)	(11)	(112%)
欧 州	92	70	162	163	△1	100%
(百万ユーロ)	(73)	(56)	(129)	(136)	(△7)	(95%)
中 華 圏	59	54	113	42	71	269%
そ の 他 地 域	47	107	154	210	△55	74%
合 計	418	522	940	896	44	105%

品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2018/3 上期実績	<2Q修正> 2018/3 下期計画	<2Q修正> 2018/3 通期計画	2017/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	213	282	495	417	78	119%
輪転機・証券印刷機	55	71	126	226	△100	56%
中古機・部品修理	101	107	208	182	26	114%
そ の 他	48	62	111	71	40	157%
合 計	418	522	940	896	44	105%

地域別売上高 予想

(単位:億円)

	2018/3 上期実績	<2Q修正> 2018/3 下期計画	<2Q修正> 2018/3 通期計画	2017/3 前期実績	差額	前期比
日 本	165	241	406	344	62	118%
北 米	43	46	89	101	△12	88%
(百万ドル)	(39)	(43)	(82)	(93)	(△11)	(88%)
欧 州	76	80	156	168	△12	93%
(百万ユーロ)	(60)	(64)	(124)	(141)	(△17)	(88%)
中 華 圏	50	54	104	72	32	144%
そ の 他 地 域	93	92	185	181	4	102%
合 計	428	512	940	866	74	109%

品目別売上高 予想

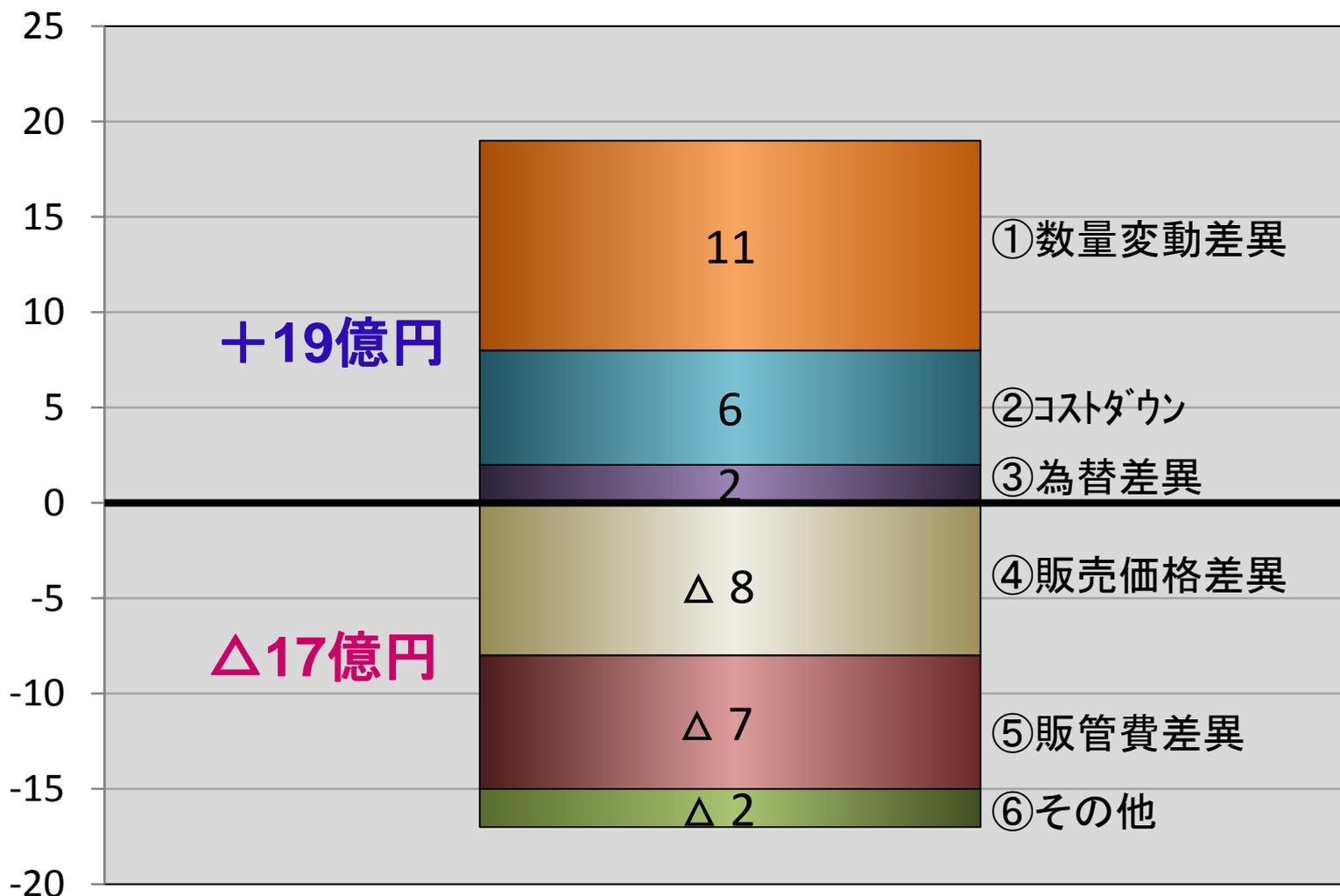
(単位:億円)

	2018/3 上期実績	<2Q修正> 2018/3 下期計画	<2Q修正> 2018/3 通期計画	2017/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	208	248	455	423	33	108%
輪転機・証券印刷機	81	99	179	205	△26	88%
中古機・部品修理	93	107	199	176	24	113%
そ の 他	47	59	106	62	43	169%
合 計	428	512	940	866	74	109%

通期営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)

(億円)

合計 +2億円



設備投資・減価償却費・開発費

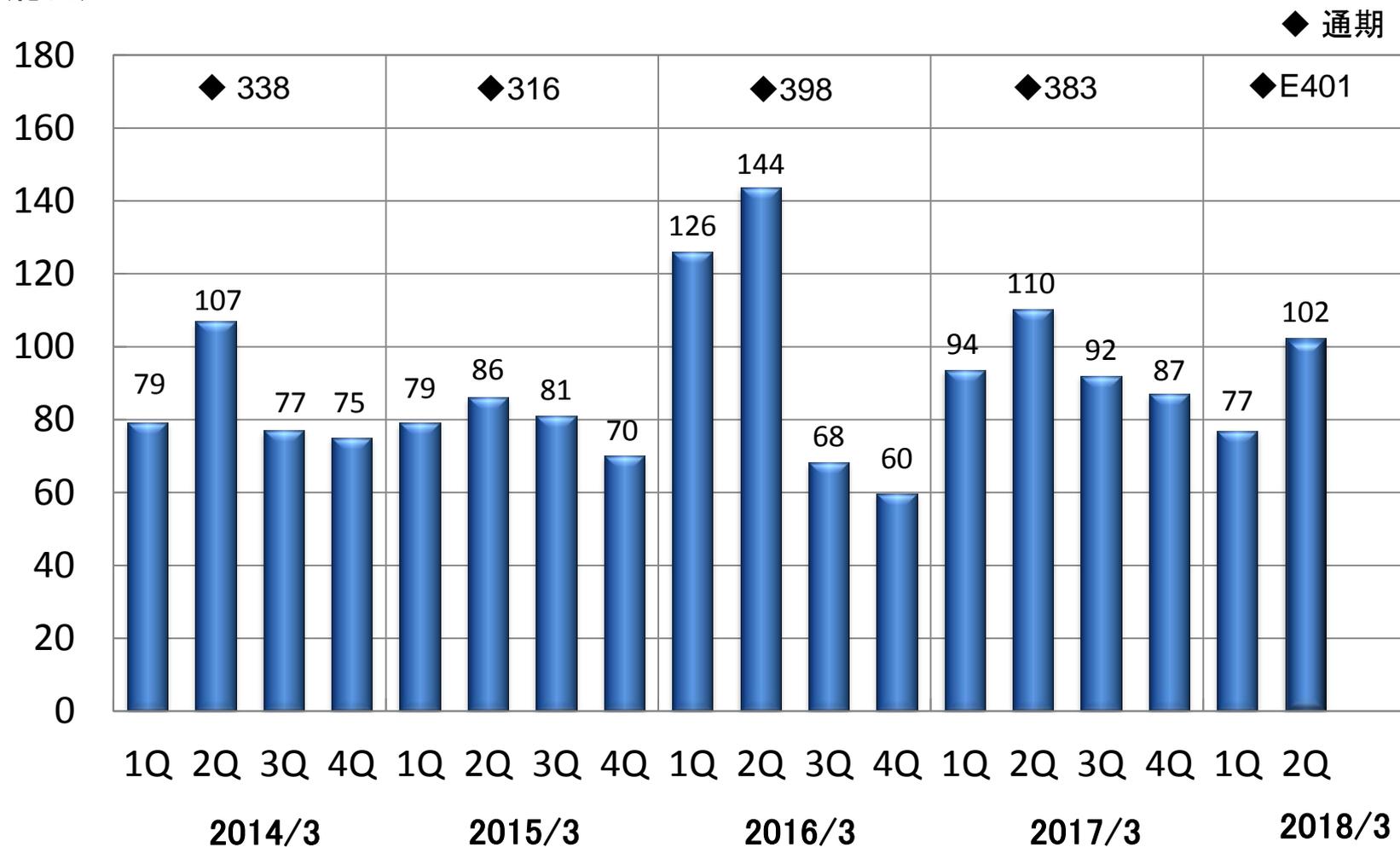
(単位:百万円)

	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3 上期	2018/3 予想
従業員数(名)	1,814	1,784	2,106	2,189	2,195	2,244	2,250
人件費	14,892	16,972	19,796	20,495	20,261	10,132	20,300
設備投資額	1,881	1,367	2,116	3,126	1,455	553	1,860
減価償却費	2,251	2,172	1,860	2,027	2,133	868	1,950
研究開発費	3,806	4,184	5,123	4,975	4,885	2,305	4,900
(売上高比)	(5.5%)	(4.6%)	(5.6%)	(5.2%)	(5.6%)	(5.4%)	(5.2%)

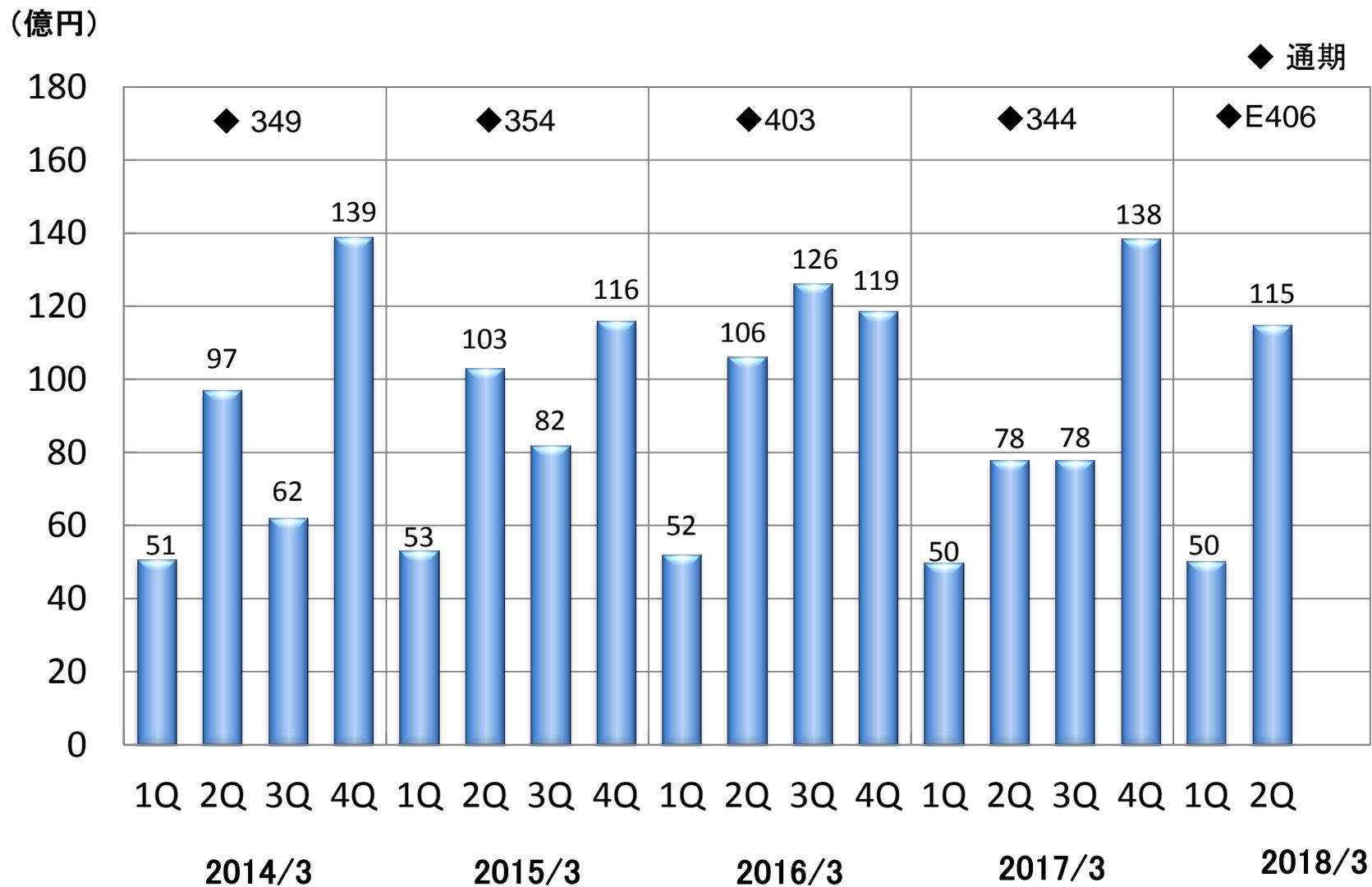
参考資料
(地域別受注高・売上高 詳細)

日本 受注高

(億円)

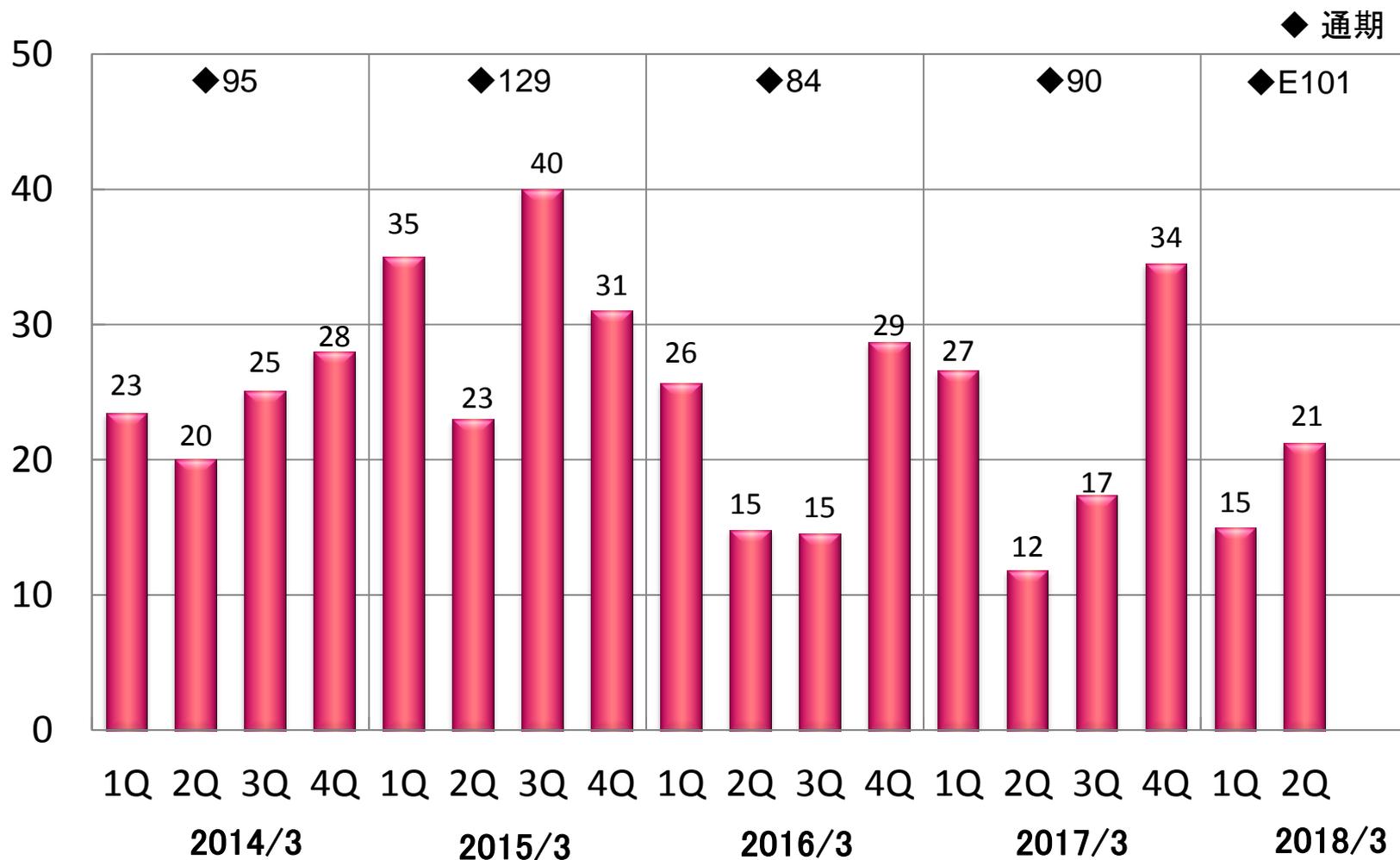


日本売上高



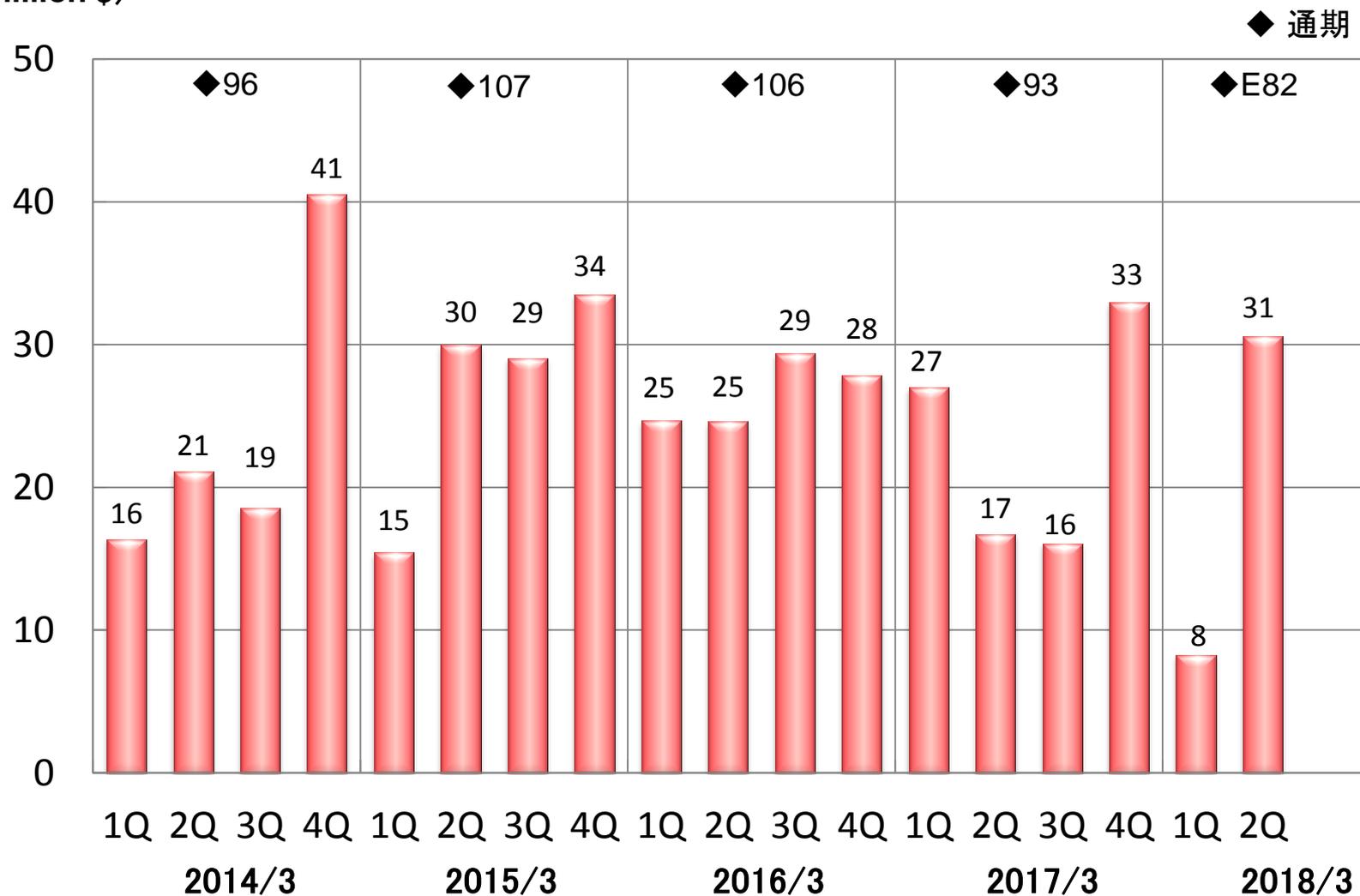
北米 受注高

(million \$)



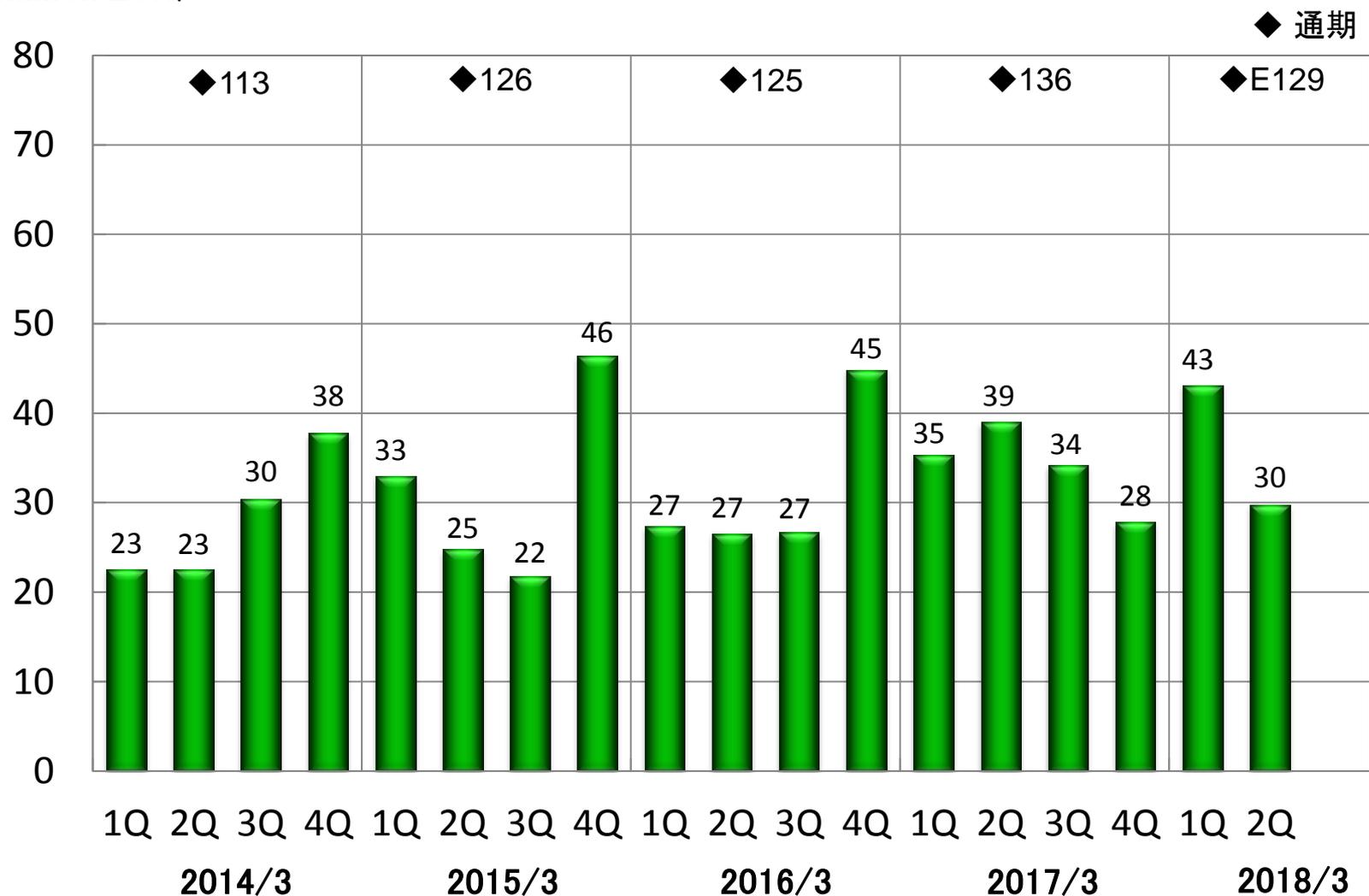
北米売上高

(million \$)



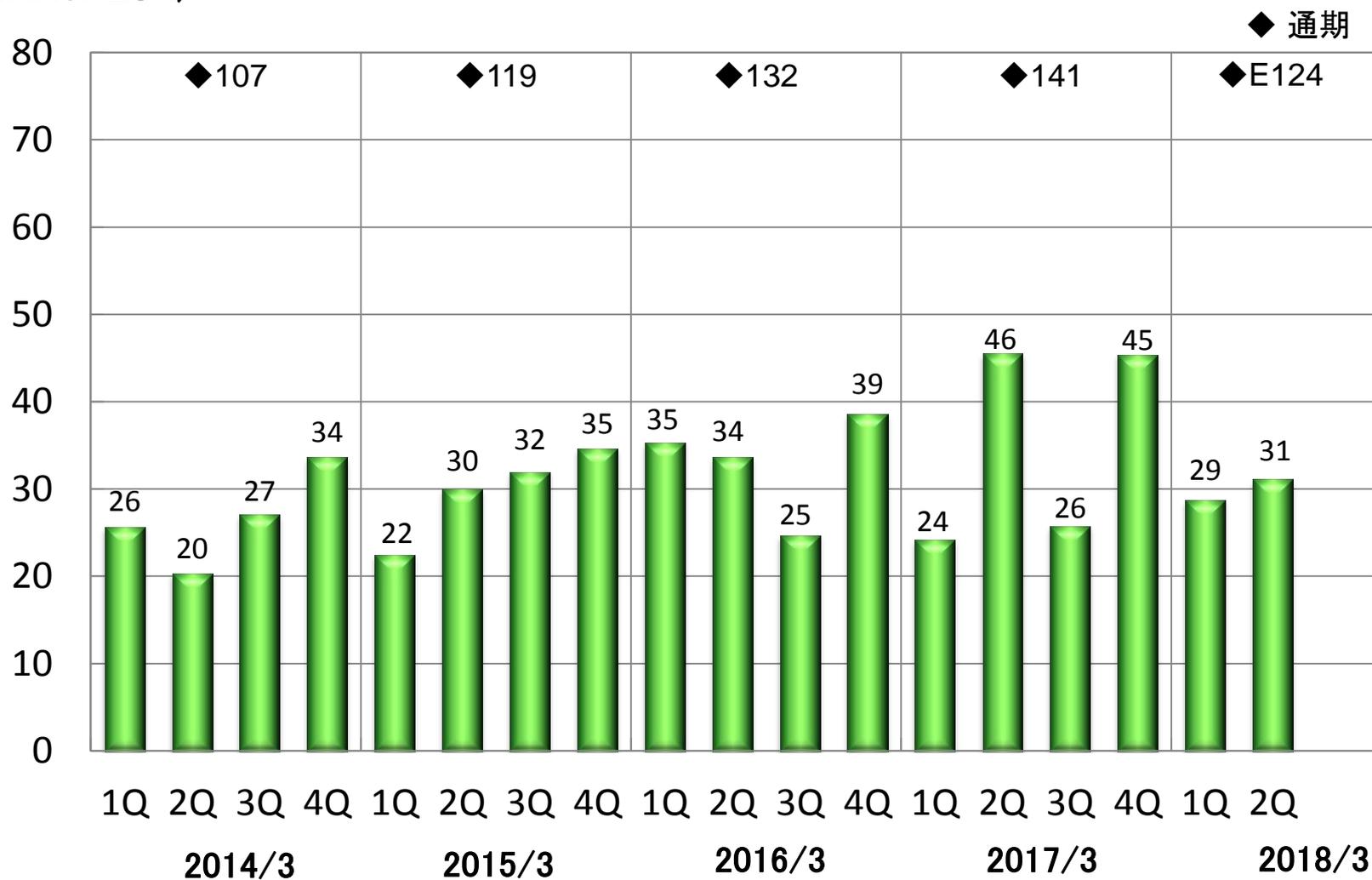
欧州 受注高

(million EUR)



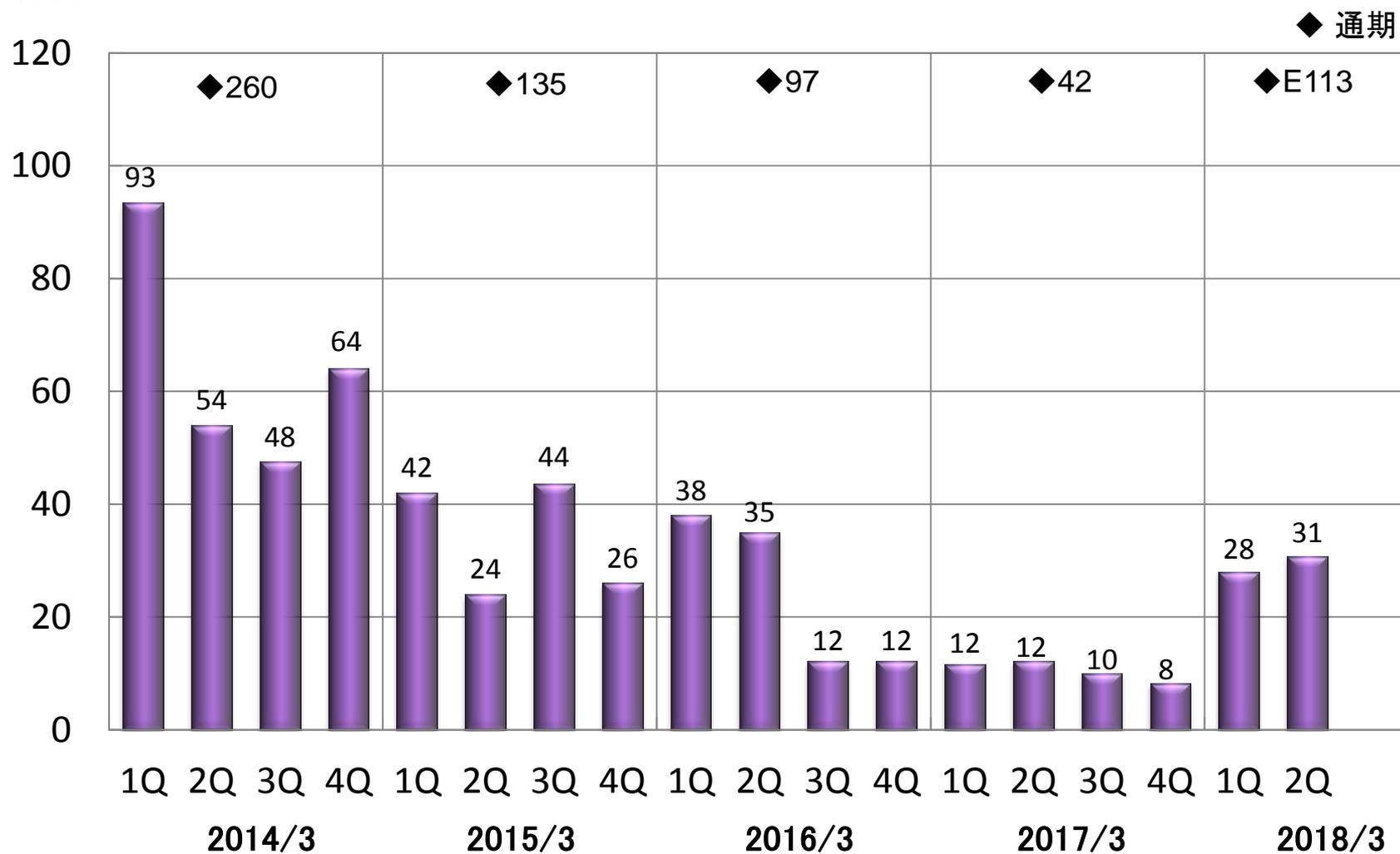
欧州売上高

(million EUR)



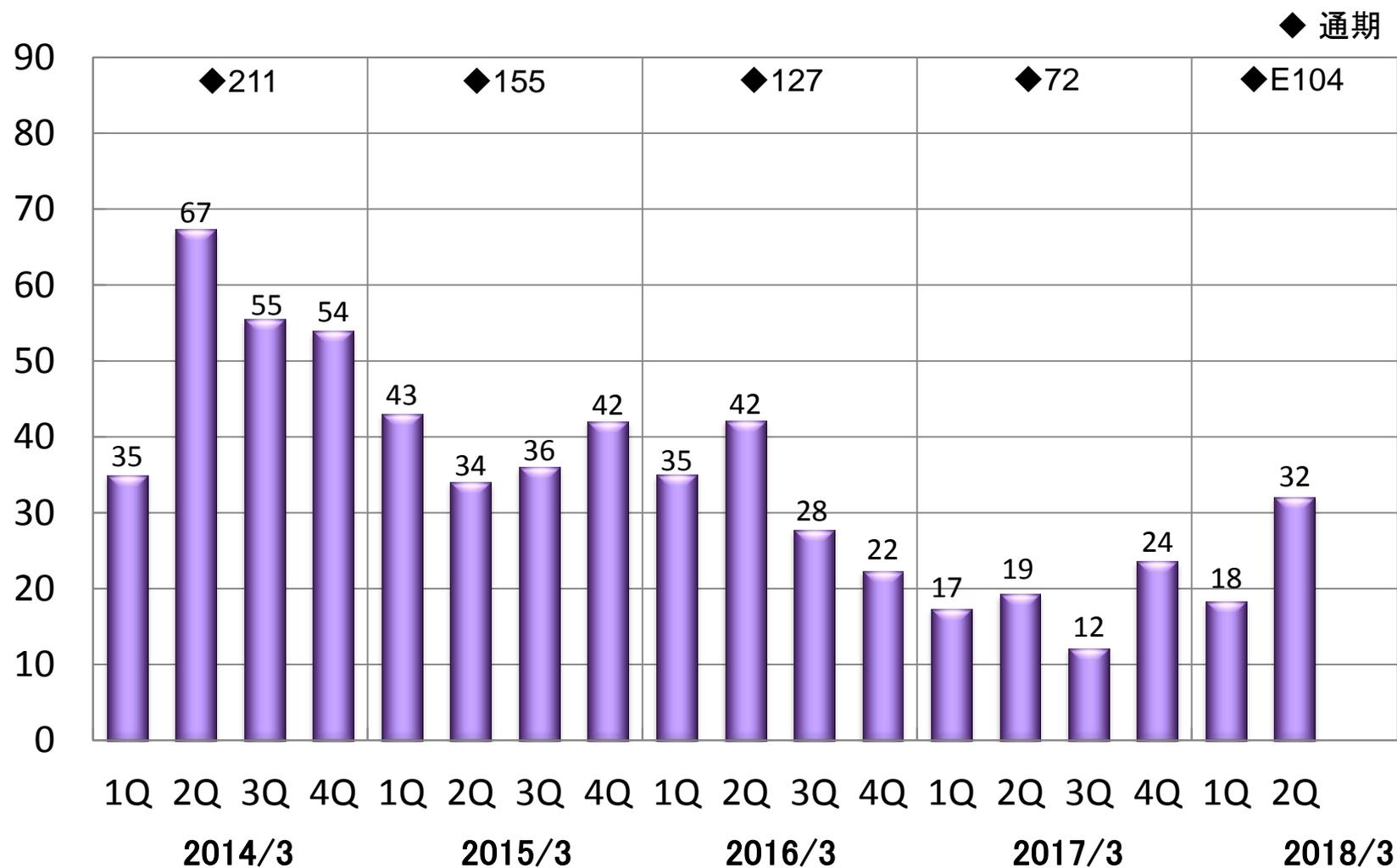
中華圏 受注高

(億円)



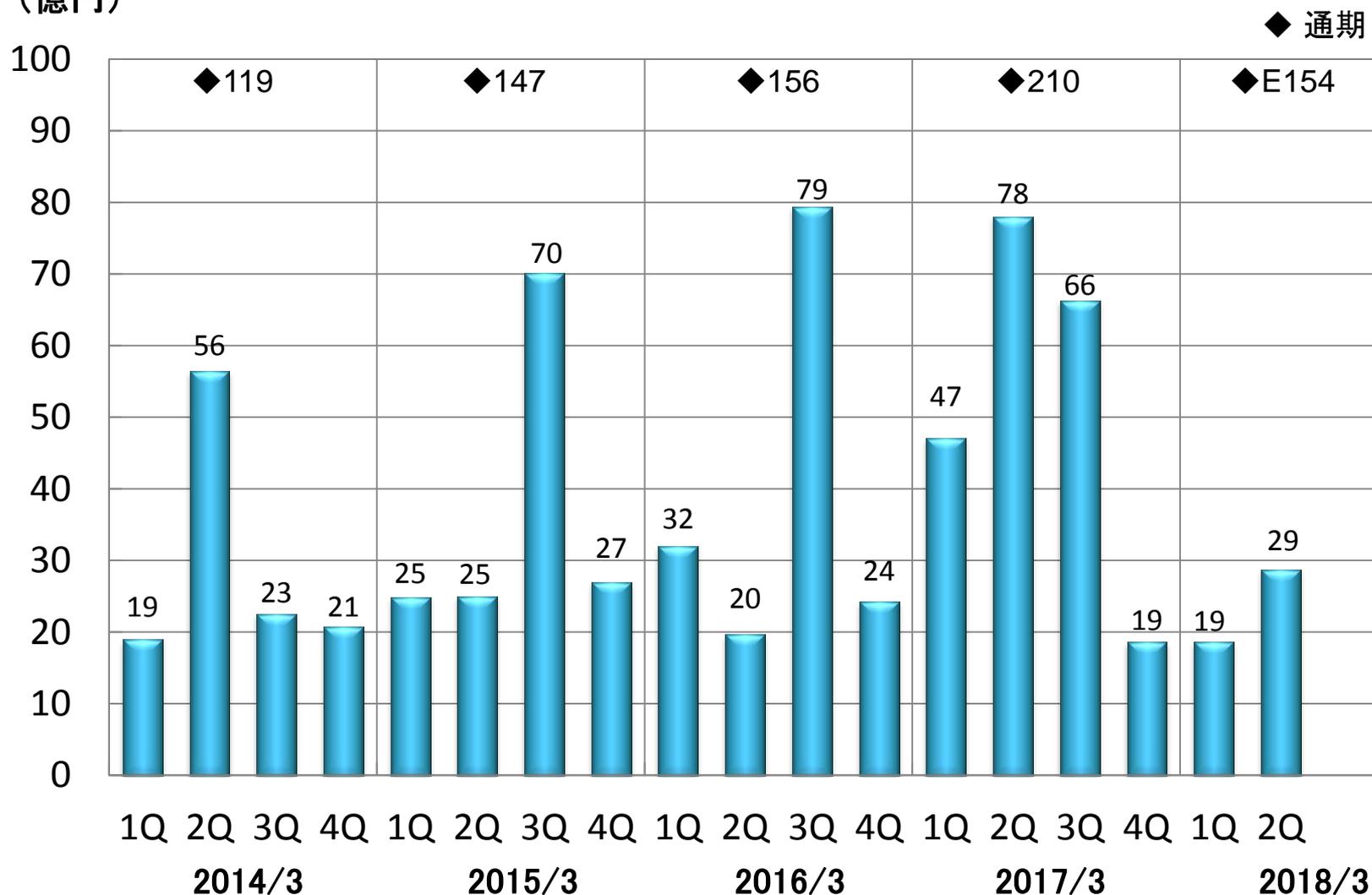
中華圏売上高

(億円)



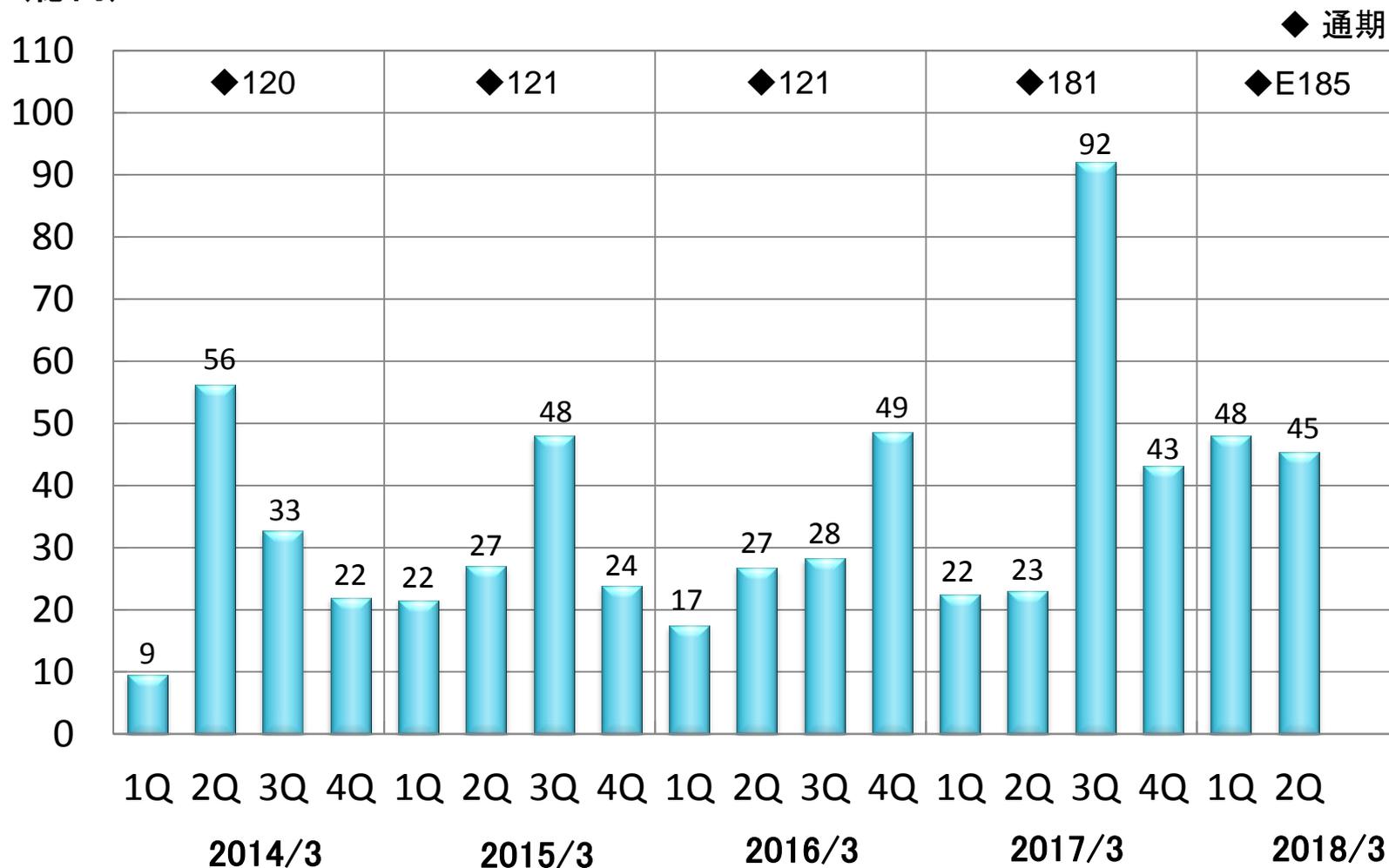
その他地域 受注高

(億円)



その他地域 売上高

(億円)



経営概況



2017年11月6日

株式会社小森 コーポレーション

- I. 2018年3月期 上期実績
- II. 事業別上期成果と下期計画の重要施策
- III. グリーンプロジェクト

I. 2018年3月期 上期実績

決算概要 P/L

(単位:億円)

		2018/3 上期実績	2017/3 上期実績	差額	前年 同期比	2018/3 上期計画	差額	計画比
受注高		418	482	△65	87%	505	△87	83%
売上高		428	339	88	126%	435	△7	98%
営業利益		4	△21	25	-	2	2	218%
経常利益		13	△30	43	-	2	11	635%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		11	△36	47	-	1	10	1102%
平均レート(円)	US\$	111.42	106.71	/	/	105.00	/	/
	EUR	126.63	119.44			115.00		
期末レート(円)	US\$	112.73	101.12			105.00		
	EUR	132.85	113.36			115.00		

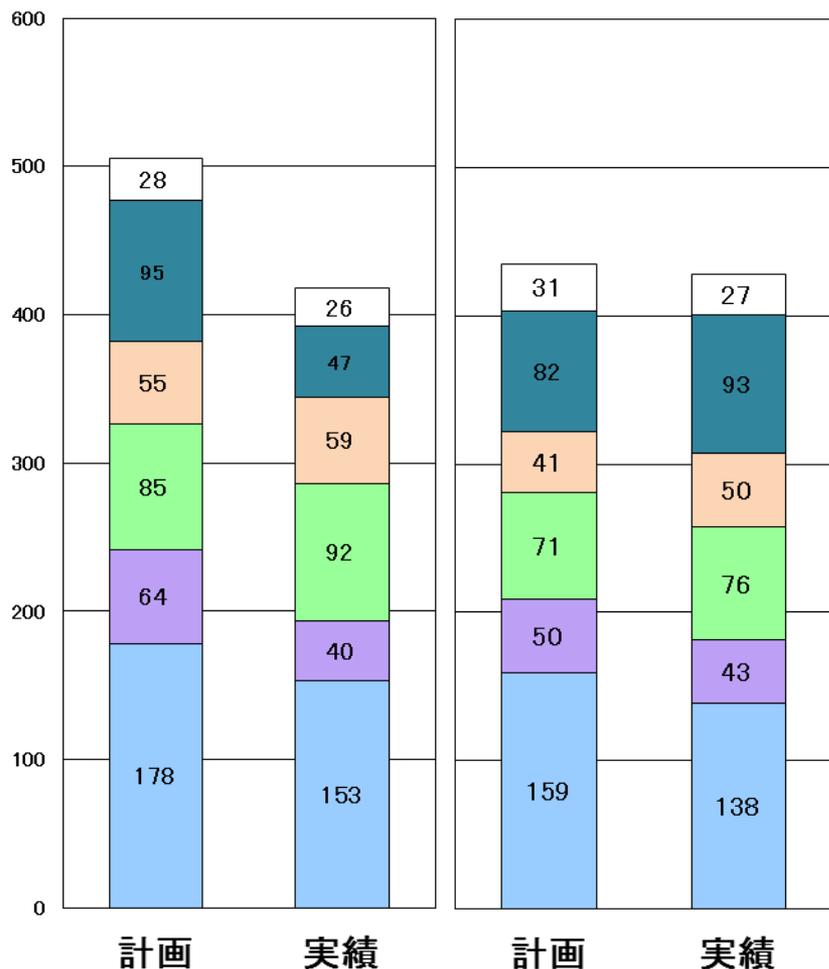
上半期 計画達成状況

受注高

505 / 418(83%)

売上高

435 / 428(98%)



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ セリア ■ その他

	計画との 差異	主な要因 KOMORI
日本	△ 25	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフ輪機の受注は計画通りに推移。 ・ 枚葉機は補助金の買い控えの影響、大型機の受注遅延等から計画未達。
	△ 21	
北米	△ 24 (△ 25)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備投資は全般的に慎重なまま推移。 ・ 高付加価値機、ワンパス大型機、DPS機、等の需要は底堅い。PRINT後の販促を強化。
	△ 7 (△ 9)	
欧州	+8 (△ 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ フランス等の投資減税、EU助成金による販売、等により計画を達成。 ・ 他方、英国はEU離脱の政情不安から投資先延ばしで計画未達。
	+4 (△ 2)	
中華圏	+4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景況向上、北京展効果、等により計画達成した。特に、大手ユーザー、新機種GL46受注が貢献した。
	+9	
その他	△ 48	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドの高額紙幣の廃止、GST導入の混乱、等の影響で計画未達。 ・ 証印の売上は、出荷検収が順調に推移。受注は当該国で入札時期が下期以降に延期され計画未達。
	+12	
セリア	△ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子部品業界の活況を受け夏場以降受注が回復。Q3以降の売上に貢献。
	△ 5	
全社	△ 87	上段：受注 下段：売上 単位：億円 ()：現地通貨m\$, m€
	△ 7	

◆OPEN NEW PAGES をテーマに小森の最新ソリューションを 発信⇒**オフセットとDPSのコラボを実演**



主 催：中国印刷及び設備機材工業協会他
期 間：2017年5月9日 - 13日
会 場：中国国際展覽センター 北京・新館
展示機：GLX40、GL37、IS29
KP-Connect、PESP商品、
VOC回収装置、等

来場者：205,039人（5日間）

中国を中心にアジアからの来場者が多数

成果：81台（LOI含む）受注を獲得



トピック⇒DPS中国受注開始

- ・新サイズ（世界初）GL46受注を開始
- ・省力、省人、自動化システムの販促
- ・環境対応への訴求



**CHINA
PRINT 2017**

- ◆ “Vision 20/20”をテーマに、デジタル・オフセット・機材・資材・サービスを含めたKomoriの提供する価値を訴求。ショー会場にはIS29をメインに展示。



- 期 間： 17年9月10(日)~14(木)
- 会 場： Chicago McCormick Place
- 展示機： IS29と関連する加工機+システム
- 来場者： 約4万人
- 成 果： 会期中IS29受注
GL840P、520HD(SCREEN製)等多数の商談



トピック

- ・ 前日KACデモセンターでオープンハウス実施
- ・ IS29/520HD/GL840P/Highcon含めた総合力を訴求
- ・ 4日間の会期中、IS29デモは大きな注目を集め連日盛況で多くの引き合いを得た。

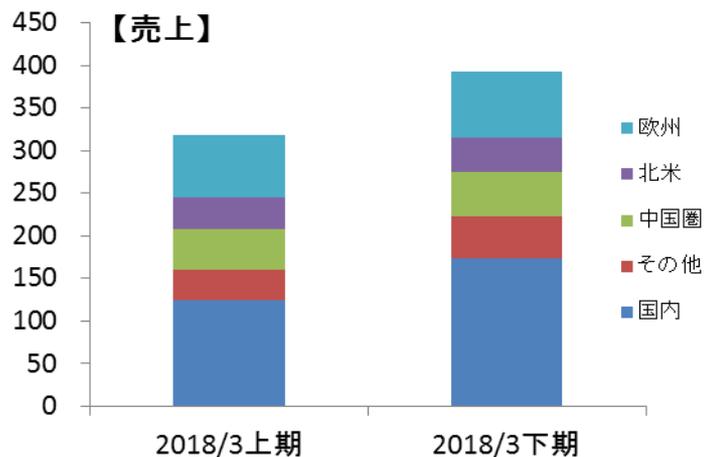
II. 事業別 上期成果と下期計画の重要施策

オフセット印刷機事業

- ・日本、中国、インド・アセアン重点市場に高付加価値ソリューションを展開し販売拡大を狙う（商品開発、販売チャネル整備）

上期成果

- ▶ 戦略製品の拡販
 - ・ H-UV機販売実績870台(2017年9月末)
 - ・ GLX40(44)RP
- ▶ インド・アセアン市場における販売体制構築



下期計画の重要施策

- ▶ 日本、中国、インド・アセアン重点市場対策の実行
 - ・ 中国向け戦略機GL46の市場導入開始
 - ・ アジア向け厚紙戦略機GL37+Cの拡販
- ▶ 日本/欧米向けパッケージ/高付加価値ソリューション機の拡販
 - ・ GL40P、GLX40(44)RP、
 - ・ H-UV/LED-UVの拡販
 - ・ IGAS2018に向けた機種開発と拡販



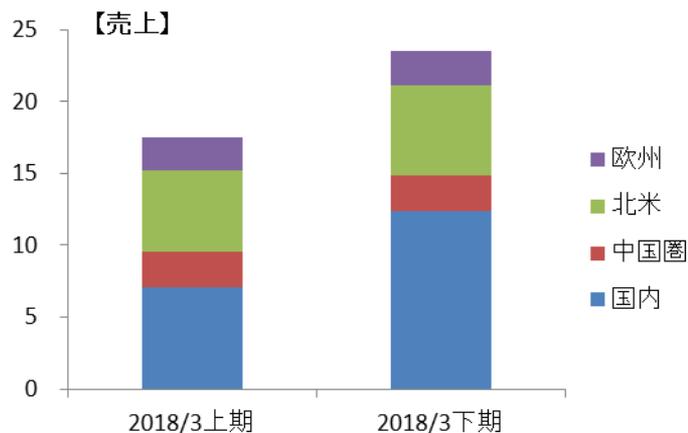
LITHRONE GX40RP

DPS事業

- ・本格的な販売開始に伴い、本機販売と合わせ、インキ、資材、保守契約等のストックビジネスの強化を図る

上期成果

- ▶国内、海外のターゲットユーザーへの搬入完了
- ▶China Print及びPRINT2017 KIE個展、等での多数の引き合いを獲得



下期計画の重要施策

- ▶国内、中国、北米、欧州での拡販
 - ・ターゲット顧客への販促活動の推進
 - ・展示会からの継続商談のクロージング
- ▶ストックビジネスの推進による収益拡大
 - ・インキ、資材、保守契約等
- ▶NS40βテスト開始に向けた対応準備

News

IS29米国印刷工業会（PIA）
インターテック技術賞
2017受賞



Impremia IS29

Impremia NS40



証券印刷機事業

- ・受注機の搬入及び検収は計画通り進行中
- ・CURRENCY ON Demand(効率化、銀行券デザイン性能強化)を訴求し重要商談の獲得に向け販促強化を図る (FY73以降の拡販対策)

上期成果

▶ 搬入は計画通り進行中

<上期の納入状況>

- ・BOE (英国) 上期中機械搬入完了
- ・Crane (米国) マルタ工場 搬入開始

▶ 納入実績(直近5年)70台を超えシェア50%以上を獲得

▶ 新英国ポンド紙幣 £ 10の印刷開始

下期計画の重要施策

- ▶ 重要商談の受注獲得
 - ・大型ライン商談、単体入札商談
- ▶ CURRENCY ON Demand の実演商談会(Currency Solutions2017/2018)
- ▶ 機械基本性能の向上(差別化対策)

NV532
「番号+コーターワンパス印刷機」



凹版印刷機

オフセット印刷機



PE・精密機器事業

- ・ FY71下半期後半から市況が回復、FY72は回復基調が継続と判断。Q2以降は受注は好調に推移。PCB業界や電子部品業界に対しソリューションを展開。
- ・ EXPO-SERIA(個展)を東京、各務原で開催(計700名以上)後の販促強化

上期成果

- ▶ 国内重要顧客からの受注獲得
- ▶ PCB業界をターゲットにした戦略機種の世界投入及び新機種の開発完了

New

カメラ付き半自動真空穴埋め装置



縦型両面印刷機



下期計画の重要施策

- ▶ 戦略商品（差別化商品）の拡販
 - ・ カメラ付き半自動真空穴埋め装置（PCB業界）
 - ・ 縦型両面印刷機（PCB業界）
 - ・ ギャップレス印刷機（電子部品業界）
 - ・ グラビアオフセット機（TP等高精細要求）
- ▶ 海外事業の事業拡大
 - ・ アジア圏の拡販体制構築
 - ・ アジア市場向けコスト競争力強化
- ▶ 製版事業の強化
 - ・ 電子製版事業の強化

PESP事業

- ・ 国内の計画工事及びインキ販売が計画通り推移し着実に拡大
- ・ KP-Connectを基軸とした、KOMORIのICT Solutionの推進

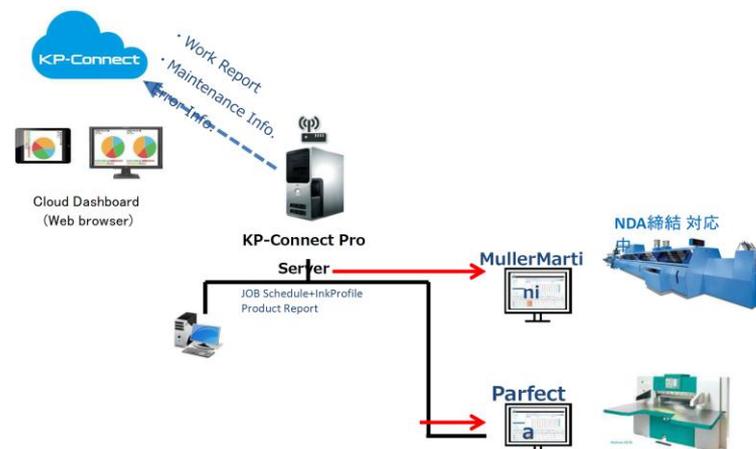
上期成果

- ▶ 国内PESP事業の販売強化
 - ・ 計画工事/K-INNK販売拡大
 - ・ KP-Connect拡大(約120台)
- ▶ 機材ビジネス拡大(商品開発)
 - ・ ハイエンド断裁機システム
 - ・ ブランカー



下期計画の重要施策

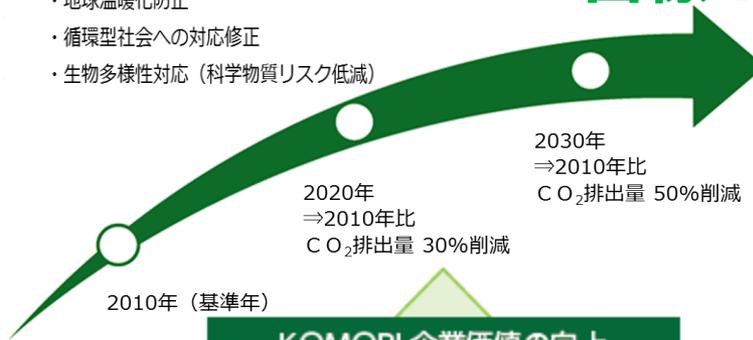
- ▶ 海外PESP事業の販売強化
 - ・ K-INNKの海外展開の推進
 - ・ KP-Connectの海外展開の推進
- ▶ ICT-Solution拡大
KP-ConnectとPre-press/Post-pressの
他社との連携強化



KOMORI エコビジョン 2030 (長期目標)

KOMORI グループは、長期環境ビジョン「KOMORI エコビジョン 2030」を策定しました。このビジョンは、地球温暖化防止、循環型社会への対応、生物多様性を柱として、持続可能な地球・社会の実現に貢献し、グローバル企業としての責任を果たしていくために、方向を示したものです。

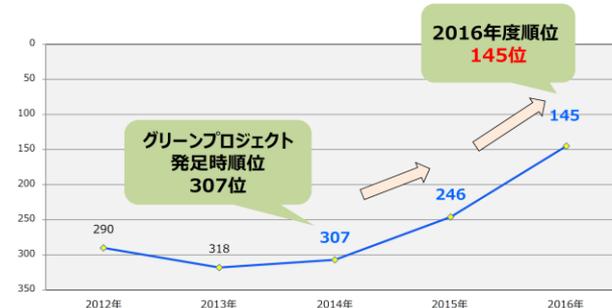
- ・地球温暖化防止
- ・循環型社会への対応修正
- ・生物多様性対応 (科学物質リスク低減)



日経環境経営度ランキング

目標：2020年に100位以内

◆当社の日経環境経営度ランキング順位



KOMORI 企業価値の向上

CSR 推進

エコファクトリー

環境に優しい生産・設備
CO₂ 年 3% 削減

Green- PJ

エココミュニケーション

環境に優しい企業活動
環境経営度ランキング 100 位以内

エコプロダクツ

環境に優しい製品開発
開発機 CO₂ 削減 -15%

実施テーマ

- ・ Scope3 導入 (地球温暖化対策)
- ・ グリーン調達推進など

- ・ 太陽光発電の導入
- ・ 省エネ活動
- ・ 廃棄物環境負荷の削減

- ・ 折機内照明オートオフなど、開発設計と協力し省エネ製品の開発



- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。